

様似郷土館だより

— 2024年6月号 Vol. 3 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地 / TEL 0146-36-3335 / Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

5月に入るとアポイ岳の高山植物の開花やヒメチャマダラセセリの活動も始まり、本格的に自然観察の楽しい季節がやってきました。オオルリオサムシやアイヌキンオサムシなどの地域固有の昆虫も採集できており、マダニに悩まされながらも楽しい採集がスタートしております。6月からはクワガタの活動も活発になりますね♪今月はカンカン講座の「昆虫の観察会」を始め色々とイベントが盛りだくさんです。町HPお知らせ欄をぜひチェックしてください！（学芸員 榎本尊）



昆虫紹介「イボタガ」

イボタガは道内では4、5月に出現する大型の蛾で日本全国に広く生息しています。前翅の大きな目玉模様(眼状紋)が特徴的で白地に黒い線の規則的な模様が大変美しい蛾です(蛾が苦手な方には怖いかもしれません)。夜行性のため夜の明かりに集まります。

5月11日に道内で低緯度オーロラの観察が可能(かも?)とのことで町内での撮影を試みました。結果的には上手くいかず、成果無しでの帰宅が癪であったため、アポイ岳ジオパークビジターセンター周辺の街灯を巡りました。30分ほどでイボタガ4匹、オオミズアオ1匹を観察し、春の蛾を楽しむことが出来ました♪



カンカン講座 予告

- 【日 時】 6月15日(土) 10:00~11:30
- 【場 所】 観音山
- 【申 込】 様似郷土館(36-3335) 6月14日まで
- 【内 容】 昆虫観察会
- 【雨 天】 公民館で昆虫に関する講演会に振替予定

夏の昆虫観察会 in 観音山



北海道内の昆虫が本格的に活動する6月。様似町の観音山で昆虫採集を一緒に楽しみませんか♪

昆虫が専門の様似郷土館の榎本学芸員が、昆虫の採集の方法や昆虫の豆知識を解説いたします！

(雨天時は野外観察会は中止し、昆虫の講演会に変更します)

日 時：令和6年6月15日(土) AM10:00~12:00

場 所：観音山(公園入口駐車場に10時集合)

参加料：無料

定 員：15名程度

持ち物：虫かご、虫網(貸し出し可)、虫よけ、飲み物

備 考：小学生3年生以下は保護者同伴

申込み：6月14日(金)までに様似郷土館へ

(☎0146-36-3335 10~17時 月曜休館)



雨天時は同日で講演会に変更します♪

場 所：様似町中央公民館 2階 小ホール

内 容：様似町内、道内の昆虫や採集風景をスライドや実物標本で紹介

備 考：前日(6月14日)までに雨予報時は参加者へ電話いたします



カンカン講座5月

【報告】

図書館主催のペーパークラブトづくりが実施されました。様似と所縁のある石、鮭、イチゴ作りに挑戦し、楽しかったです。鮭の解説を担当しました。



2024年6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 休館日	4	5	6	7	8
9	10 休館日	11	12	13	14	15
16	17 休館日	18	19	20	21	22
23	24 休館日	25	26	27	28	29
30						

10:00~16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

昆虫観察会（浦河町）

【日時】5月16日(木) 10:00～

【場所】浦河フレンド森のようちえん

【講師】榎本 学芸員

【内容】

「フレンド森のがっこう」の園児、教員とともに敷地内で昆虫の観察会を実施しました。5月であったため観察種数は少なかったものの、ハムシ、マツモムシ、キノコムシ、コメツキ等を観察しました。終了後には昆虫に関する質問を受け付け、終了しました。体験を通して学ぶことができ、自然に囲まれたいい環境でした。



【参加報告】

遺跡の所在地調査

【日時】5月28日(火) 【調査員】北海道教育委員会より1名派遣

町内での遺跡の所在地調査に参加しました。該当地にて2か所(1m×1m)に穴を開けて、内部の土器や石器の有無を確認しました。今回の調査地域からは泥の層(おそらくは海底由来)が出てきたため、遺跡出土の可能性は低いと結論づけられました。現在は土の上に家屋を建てますが、縄文時代には穴を掘る竪穴式住居であったため、水はけの悪い泥の大地は居住に不適でした。



【参加報告】

アポイ岳での植物調査

【日時】5月29日(水) 【調査員】5名

アポイ岳7合目付近の調査区域にてコドラート(方形区)調査を実施しました。調査区域内の高山植物の生息種数、個体数、開花状況、高さ、被覆度等を記録しました。こうした調査活動がアポイ岳の貴重な高山植物の生育状況の把握や今後の保全に役立てられていきます。



新着資料紹介(4月、5月受入)

1. 花瓶、チケット (計3点)

・かんらん岩でできた花瓶(南産業製) ・国鉄バスのチケット

2. 三味線、和傘、桐たんす、重箱、カメラ、姿見、レコードプレーヤー(計20点)

・日本舞踊の先生の所有品。寄贈品の和傘は種類も多く、今まで当館では2本の和傘のみであったため嬉しい。

3. 手回し式サイレン(1点)

・手回しハンドルを回すことで警報が鳴る。郷土館の新着コーナーに展示中。

本機器はトンネルの発破の合図に使用。えりもでは昆布漁、様似では野球場での使用例あり。



様似郷土館では随時、寄贈資料の受け入れをしております。気になる資料がありましたらお気軽にお電話ください♪